

保護者の皆様へ

子どもたちが毎日をいきいきと生活するためには、心の健康が大切です。

著しく変化し、複雑で予測困難な社会を生きる子どもたちにとって、日々変化する自分の心の状態に気づき、要因について考え、よりよく対処する事ができる資質・能力を身に着けることは、生涯にわたり社会を生きる力につながります。

そこで、本校では児童生徒が自分の心の状態に気づき、自分に合った方法で適切に対処することができるように「誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策『COCOLOプラン』（文部科学省）」も受け、校内教育支援センターとして「たけのこルーム」が設置されました。（表面参照）

「COCOLOプラン」の概要は以下の通りです。

- ① 不登校の児童生徒すべての学びの場を確保し、学びたいと思ったときに学べる環境を整える
- ② 心の小さなSOSを見逃さず、「チーム学校」で支援する
- ③ 学校の風土の「見える化」を通して、学校を「みんなが安心して学べる」場所にする

たけのこルームの役割としては、

「自分の学級に入れない時や、少し気持ちを落ち着かせてリラックスしたい時に利用できる学校内の居場所」です。支援にあたる職員は、担任をはじめ教職員及び校内教育支援センター支援員です。

内川小中学校の校内教育支援センター支援員は

“いしかわ”と申します。お子様の学習支援や悩み相談などをさせていただきたいと思っています。また、スクールカウンセラー等と連携を図り、保護者の方のご相談も承りたいと思っています。

“いしかわ”の勤務日は以下の通りです。ご相談には事前に予約してくださると助かります。



月・火・木・金 の 8:30~14:30

お子さんには、まず生活リズムを整えるようにご家庭でもご指導願います。心と体を作るためには規則正しい生活が欠かせません。ひとつのことに夢中になるのは良いことですが、そればかりやっていて食べることを忘れてたり、寝るのが遅くなってしまったりしては、元もこもありません。おススメは、「朝決まった時間に起きる」「夜決まった時間に寝る」「1日3食ご飯を食べる」です。睡眠が十分で、栄養もとれていると心も体も元気になってきます。また、悩みがあっても解決する力、落ち込んでも立ち直る力が育ち、事が大きくなりにくいです。そして、お子様が持っている力を信じることです。

- ・気持ちをリラックスさせる
- ・一時的な待機場所
- ・自分を見つめることができる場所
- ・自分なりの目標がある
- ・内川の特性を活かす
- ・うまくSOSを出すことができる
- ・学校へ来ることが、ゴールではない



それが、「たけのこルーム」